

岡山県栄養士会の 2024 年度定時総会が開催されますこと、誠におめでとうございます。開催にあたりまして、お祝いの言葉を申し上げます。

本年は、約 3 年間にわたる新型コロナウイルスによる行動制約が撤廃され、「当たり前の正月」を迎え、喜びを感じておりましたが、それも束の間、元日の夕刻に能登半島地震が発生しました。能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様が一日も早く復興されること祈るばかりです。発生直後より日本栄養士会におきましては、災害対策本部を立ち上げ、賛助会員様の多大なるご協力を得て、全力で支援活動に取り組んでまいりましたが、3月31日をもって解散いたしました。支援活動にご協力いただきました管理栄養士・栄養士をはじめ医療・福祉関係者の皆様、貴会会員の皆様に感謝するとともに心より敬意を表します。今後も引き続き、貴会におかれましては、平時から地域の医療・福祉関係者との連携強化・綿密な対応への準備を通じ、災害時における機動的な対策の実施に寄与していただきますようお願いいたします。

昨年度は、東京栄養サミット 2021 のコミットメントの実現に向け、我が国の健康的で持続可能な食事の推進や健康長寿国家の建設に大きく貢献してきた日本の栄養改善活動とその成果である“Japan Nutrition”を世界に発信するとともに、世界の栄養不良の撲滅に向けて、本会では国際的な支援活動を本格的に始動いたしました。

一方わが国では、人生 100 年時代を迎える中で、誰もが長く元気に活躍できる社会の実現を目指して、保健・医療・福祉など様々な領域の栄養課題への対応を図ることが必要となっています。

昨年は、医療法に基づく医療機能情報提供制度において、「管理栄養士・栄養士」の医療職種としての明確化がなされました。また、令和 6 年度の診療報酬、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の同時改定においては、栄養の重要性が評価され、栄養管理の更なる推進に向け、様々な見直しが行われました。さらに、各都道府県におきましても各分野の新たな計画が策定され、今年度よりスタートしておりますが、「健康日本 21（第三次）」では、全ての国民が健やかに生活できる持続可能な社会の実現に向けて、誰一人取り残さない実効性のある栄養政策の充実強化が求められています。また、地域における良質かつ適切な医療提供体制の確保に向けた「第 8 次医療計画」をはじめ、「がん対策推進基本計画」、「第 2 期循環器病対策推進基本計画」、「成育医療等基本方針を踏まえた計画」等の各計画においても様々な栄養問題に対応するための対策が掲載されています。

このようなことから、2024 年度は貴会におかれましても、地方自治体、産学官等と連携・協働を図り、保健・医療・福祉などの現場で管理栄養士・栄養士の活動が評価されますよう、ご尽力をお願い申し上げます。

全国の管理栄養士・栄養士は、栄養と食の専門職として、「栄養の力」ですべての国民が健やかに心豊かに幸せに生活できる持続可能な社会の実現に向け、最大限の努力をしていきましょう。

貴会会員の皆様におかれましては、ご自愛の上ご活躍のほど、お祈り申し上げます

2024 年 6 月 8 日

公益社団法人日本栄養士会 代表理事会長 中村 丁次